

21  
な努力をして労働者の正當なる團結權の進展を阻害せんと試みてゐる。然し事物の間斷なき進行は晝夜を別たす吾人の眼前に展開されつゝある。小兒はいつ迄も小兒ではない。春日新緑、鬱蒼たる櫻葉も秋霜の襲來と共に地上に凋落する。今日其の基礎が如何にも微弱で、加ふるに外觀的には其の存立を怪まれる程萎縮、頽廢せる我國の労働組合運動も、いつか挽回の機運に伴ふて、其勢力を擴大し、其の基礎を鞏固にし、更に進んでクロード・シヨップはおろか、生産管理統制の要求を主張する時機が來ないと斷定する事の出來得るものが何處にある。

大正十年三月三日稿本印刷  
大正十年三月五日發行

(非賣品)

著者 北澤新次郎

編輯印刷 兼發行人 工人會

右代表者 熊田國吉